

再評価結果（平成17年度継続事業箇所）

担当課：都市整備課

担当課長名：榊 茂之

事業名	あらおおおぶせん 荒尾大府線		事業区分	街路	事業主体	愛知県	
起終点	あいちけんとうかいしあらおちょう 自：愛知県東海市荒尾町 あいちけんとうかいしあらおちょう 至：愛知県東海市荒尾町				延長	0.3 km	
事業概要	本路線は、東海市と大府市を東西に結ぶ幹線道路である。本事業区間では、名鉄常滑線及び国道247号が南北に縦断しているため東西の交通が分断され、また現道が狭いため著しい交通渋滞が発生している。さらに、本事業区間沿線では土地区画整理事業が進行中であり、今後ますます交通需要増大が予想されることから、本事業の整備により交通環境の改善を図るものである。						
H8年度事業化	S43年度都市計画決定 (S46年度変更)		H8年度用地着手		H18年度工事着手予定		
全体事業費	約19億円		事業進捗率	17%		供用済延長	0 m
計画交通量	16,100台/日						
費用便益比	B/C	総費用	総便益		基準年		
	4.3	17.62億円 事業費：17.47億円 維持管理費：0.15億円	75.52億円 走行時間短縮便益：74.74億円 走行費用減少便益：1.35億円 交通事故減少便益：-0.57億円		平成17年		
事業の効果等	・都市の再生（DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する。） ・個性ある地域の形成（名鉄常滑線により分断されている東海市荒尾町地区の一体的発展が見込まれる。）						
関係する地方公共団体等の意見	地域分断の解消、市街地のより一層の発展のために地元東海市からも早期完成が望まれている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	本事業区間沿線では、土地区画整理事業が進行中であり、この区画整理地区から臨海工業地域への通勤等のアクセス道路としての位置づけから本路線の必要性が増大している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地買収は約48%進捗している。 残事業は、用地買収4件、道路工事L=329m（うち名鉄跨線橋工事あり）						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	無籍地等による公図の混乱により、関係する事業用地の取得が困難な状況が続いてきたが、関係地権者及び関係機関と調整に努めてきた結果、平成16年度に調整作業を終え、関係地権者の了解のもとで公図の訂正を終了することができた。阻害要因となってきた公図混乱の問題を解消することができたことを踏まえ、本年度、残された事業用地の取得に向け、物件調査等の諸調査を開始している。今後、これらの調査結果を基に、引き続き関係地権者等の理解を求め、早期に事業用地の取得を完了し、工事着手を目指す。						
施設の構造や工法の変更等	新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の使用等によりコスト縮減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用等により環境負荷の低減に努める。						
対応方針	事業継続						
事業概要図							